

## 名古屋大学博物館第1回企画展記録

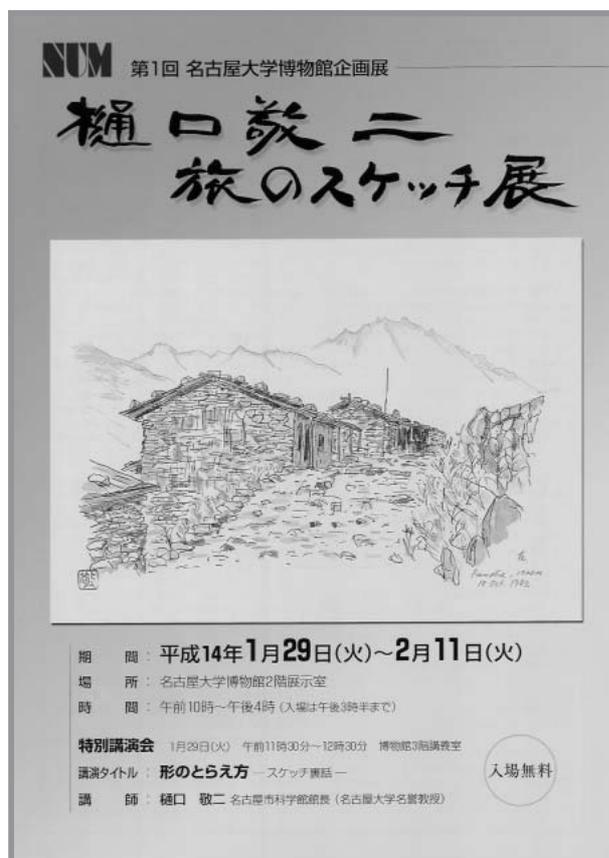
### 樋口敬二 旅のスケッチ展

#### Records of 1st NUM Special Display

会場：名古屋大学博物館

会期：平成14年1月29日～平成14年2月11日

#### ごあいさつ



このたび、第1回名古屋大学博物館企画展として、『樋口敬二旅のスケッチ展』を開催する運びとなりました。このスケッチ展は、“名古屋大学にもっと芸術的・文化的な香りを”との観点から企画されたもので、昨年からはじめた博物館コンサート (NUMCo) と共通の側面をもっています。

樋口敬二名誉教授は北海道大学理学部の中谷宇吉郎博士のもとで雪や氷の研究に着手し、1966年からは名古屋大学水圏科学研究所において、ネパール・ヒマラヤを中心に雪渓・氷河・永久凍土の研究で輝かしい足跡を残されました。本学退官後は、名古屋市科学館館長として博物館行政にも深く携わっておられます。

樋口さんは、フィールドワークや国際会議で海外出張の折りに、時間を見つけて多くのスケッチを描いてこられました。こうしたスケッチは自然科学の基本である観察と深く関わっています。樋口さんの素人離れしたスケッチは、研

究者仲間や親しい人々の間では周知のことですが、一般には必ずしもよく知られているわけではありません。

本学関係者のなかには、現役・OBを含めて、絵画・書・写真・陶芸等に卓越した才能の持ち主も少なくないとうかがっています。今回の企画展がこうした隠れた才能の持ち主にスポットを当てる契機になることを願っています。

2002年1月29日

名古屋大学博物館長 足立 守

## 展示と解説

### (1) 樋口敬二氏のプロフィール（パネル）

1927年生まれ 京都氏出身

1947年 三高（旧制・第三高等学校）在学中に氷の実験的研究を校友会誌『嶽氷』に発表。

1949年 中谷宇吉郎博士を慕って、北海道大学理学部物理学科入学。以来、在学中から中谷研究室の一員となり、亡くなるまで指導を受ける。

1952年 物理学科卒業、大学院入学。積雪水量調査、氷物性の研究。

1955年 理学部地球物理学科気象学研究室助教授として降雪を研究し、「降雪雲の構造的研究」で日本気象学会賞（1965年）

1966年 名古屋大学教授となり、水圏科学研究所水圏物理学部門を担当し、雪溪、氷河、永久凍土の研究を行い、「日本における雪溪の氷河学的研究」で日本雪氷学会学術賞（1971年）、「ネパール・ヒマラヤの氷河と気象に関する研究」で秩父宮記念学術賞（1981年）。

1984年 名古屋大学水圏科学研究所所長

1991年 名古屋大学定年退官、中部大学国際関係学部教授（1992年12月退職）

1993年 名古屋市科学館館長（現）

この間、日本学術会議会員、測地学審議会、学術審議会、中央環境審議会等の委員、国際水文科学協会（IAHS）副会長を歴任、中日文化賞（1990年）、紫綬褒章（1993年）受賞、文部大臣表彰（1998年）。

## 著書

『地球からの発想』（新潮社）（日本エッセイスト・クラブ賞）

『雪と氷の世界から』（岩波新書）

『氷河への旅』（新潮社）

『新しい日本を創る』（講談社）など

## 趣味

水彩画

### (2) 展示作品（入口より、右まわり順）

1) 日影のピリヤード（ユータン・西域南道、中国）

2) ゴルカの王宮（タワコット、ネパール）

3) キャンジン・ゴンパ（ランタン、ネパール）

4) ベトラワチ（海拔 625m）（ランタン、ネパール）

5) マニガオン（海拔 1160m）（ランタン、ネパール）

6) ラムチェ（海拔 1820m）（ランタン、ネパール）（企画展のポスターに使われたスケッチ）

7) ターレ（海拔 1930m）（ランタン、ネパール）

8) キャンジン・ゴンパ（海拔 3700m）（ランタン、ネパール）

9) テーブル・マウンテン（ケープタウン、南アフリカ）

10) カスバ遠望（ラバト、モロッコ）

11) スルタン・ハッサン・モスク（カイロ、エジプト）

12) マストリヒト駅（オランダ）

- 13) シェイクスピア娘の家（ストラトフォード・アポン・エイボン、イギリス）
- 14) パリ市庁舎（フランス）
- 15) グラン・プラス（ブリュッセル、ベルギー）
- 16) 北方民族博物館（ストックホルム、スウェーデン）（図1）
- 17) プラハの町角（チェコ）
- 18) 議事堂図書館（オタワ、カナダ）
- 19) 19世紀の民家（ヤクーツク・シベリア、ロシア）
- 20) 樹の家（ボンベイ、インド）

\* 展示作品のうち、16) はこの企画展の後、名古屋大学博物館へ寄贈された。



図1 北方民族博物館（ストックホルム、スウェーデン）

### （3）その他

中央の展示台の手前側に、ICSU事務局（パリ、フランス）の絵を掲載した単行本（英文）、ICSU機関誌（英文）、『學術の動向』、ならびに陶板などを展示し、展示台の奥側に、作品を表紙にした『學術の動向』をならべるとともに、作品をまとめた画集、絵ハガキ、雑誌、週刊誌などを展示した。

企画展に関連した講演会

特別講演会（通算第13回） 2002年1月29日

形のとらえ方 —スケッチ裏話—

講師 **樋口敬二氏**（名古屋大学名誉教授、名古屋市科学館館長）

（報告者：足立 守）